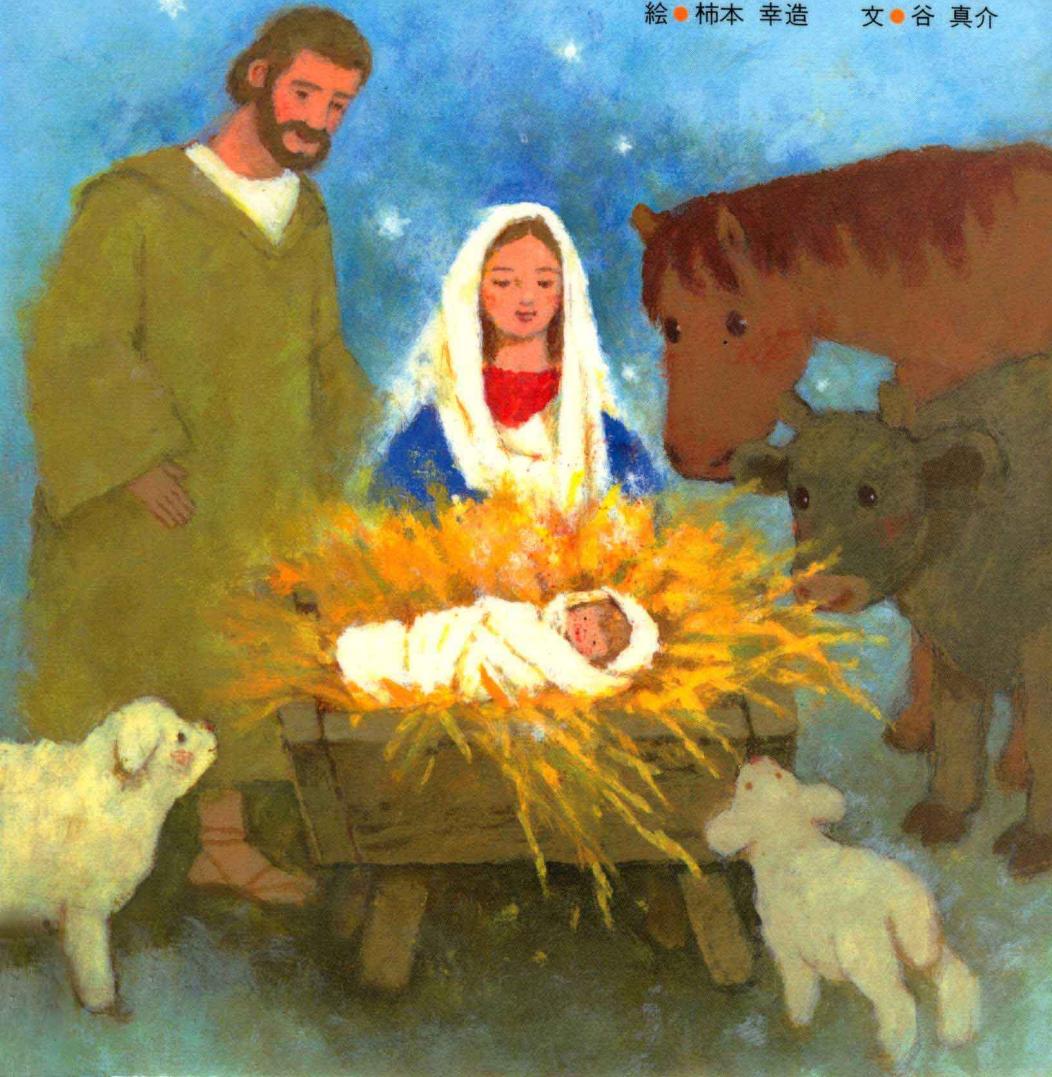


くりすますのおはなし

絵・柿本 幸造

文・谷 真介



『くりすますのおはなし』について

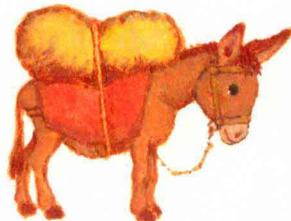
クリスマスの絵本のお話を書くのは、二度目です。

前の絵本『小さなぎんのはし』(女子パウロ会、80年刊)は、長崎に伝わっている日本風のクリスマスの習俗を素材にしましたが、こんどは聖書に記されたイエスさま誕生のできごとを、小さな読者むけにまとめてみました。

聖書によれば、神さまは御子の誕生と御子への命名をはっきり告げられましたが、「いつ」「どこで」お生まれになるかは、おっしゃいませんでした。それが、私たちでさえ氣のどくに思われる場所だったのでですから、まったく驚きです。同時に、このかたならほんとうに私たちの悩みをいやしてくださいると、親しみの気持ちがわきあがってきます。

クリスマスは、「プレゼントをもらったりあげたりする日」だけではありません。深い祈りにも似たすばらしい柿本画伯の絵を一場面ずつ味わいながら、小さな読者とクリスマスについて語りあっていただければと、思っています。

谷 真介



絵・柿本 幸造(かきもと こうぞう)

1915年広島県生まれ。

作品に、「どんくさんシリーズ」(至光社)、「チムとターグ」(世界文化社)、「どうぞのいす」(ひさかたチャイルド)など多数ある。第8回小学館絵画賞受賞。児童出版美術家連盟会員。

文・谷 真介(たに しんすけ)

1935年東京生まれ。

『台風の鳥に生きる』(偕成社)で厚生省児童福祉文化奨励賞、第3回ジュニア・ノンフィクション文学賞受賞。作品に、『沖縄少年漂流記』(理論社)、『フランシスコ・ザビエル』『二十六の十字架』(女子パウロ会)など多数ある。日本文芸家協会会員。

くりすますのおはなし

絵・柿本 幸造 文・谷 真介

初版発行 ● 1990年11月1日

発行所 ● 女子パウロ会 代表者 ● 三嶋 邦子

〒107 東京都港区赤坂8-12-42 ☎03-479-3941 FAX. 03-479-5197 振替 東京4-101228

印刷所 ● 倭精興社

ISBN4-7896-0343-1 C8716

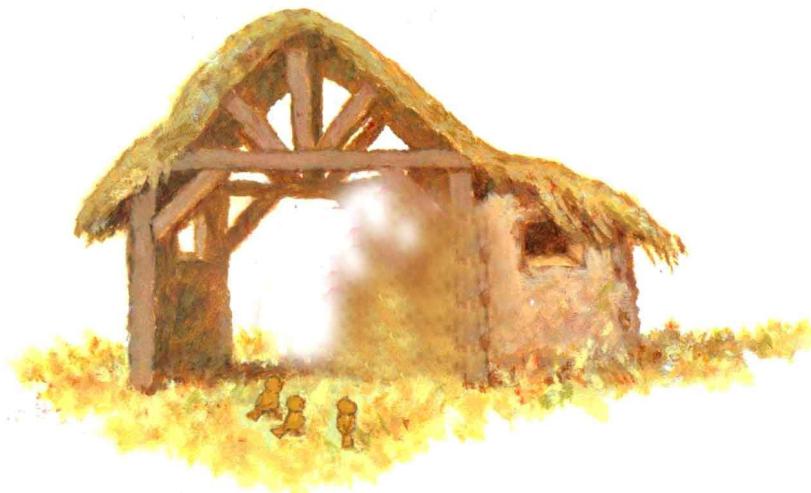
NDC 913 24P 26cm

©K.Kakimoto & S.Tani 1990 Printed in Japan

くりすますのおはなし

絵・柿本 幸造 文・谷 真介

江苏工业学院图书馆
藏书章



女子パウロ会

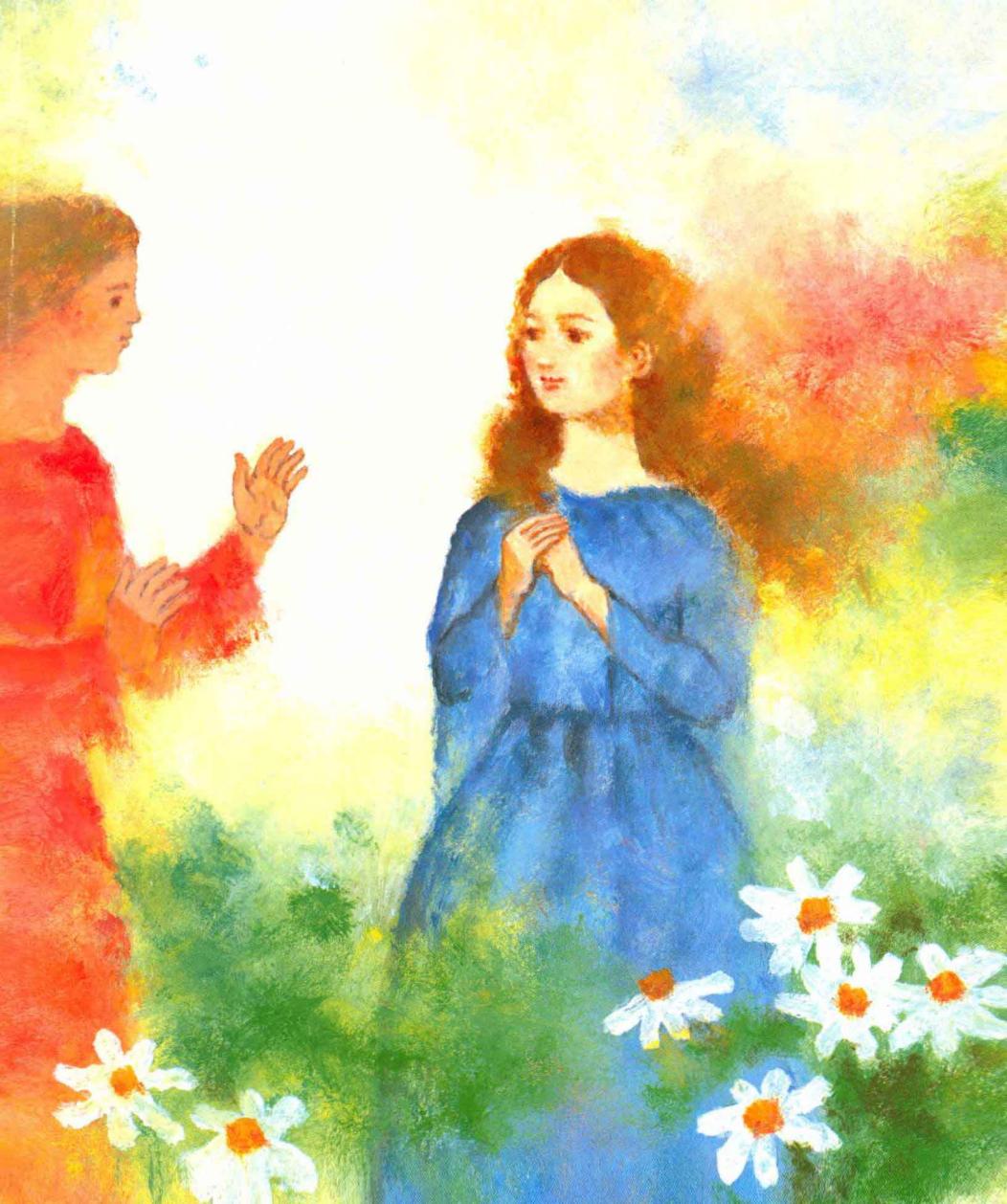




むかし ゆだやの くにに
まりあと いう こころの うつくしい
むすめが いました。
まりあは もうすぐ よせふの およめさん。



ある ひの ことです。
まりあの ところに てんしが やって きて
かみさまの ことばを つたえました。
「おめでとう まりあ。
あなたに あかちゃんが うまれますよ。
なまえを いえすと つけなさい。
その こは せかいじゅうの ひとたちが
まって いる かみさまの みこですよ。」



そのころ おうさまの めいれいが でました。

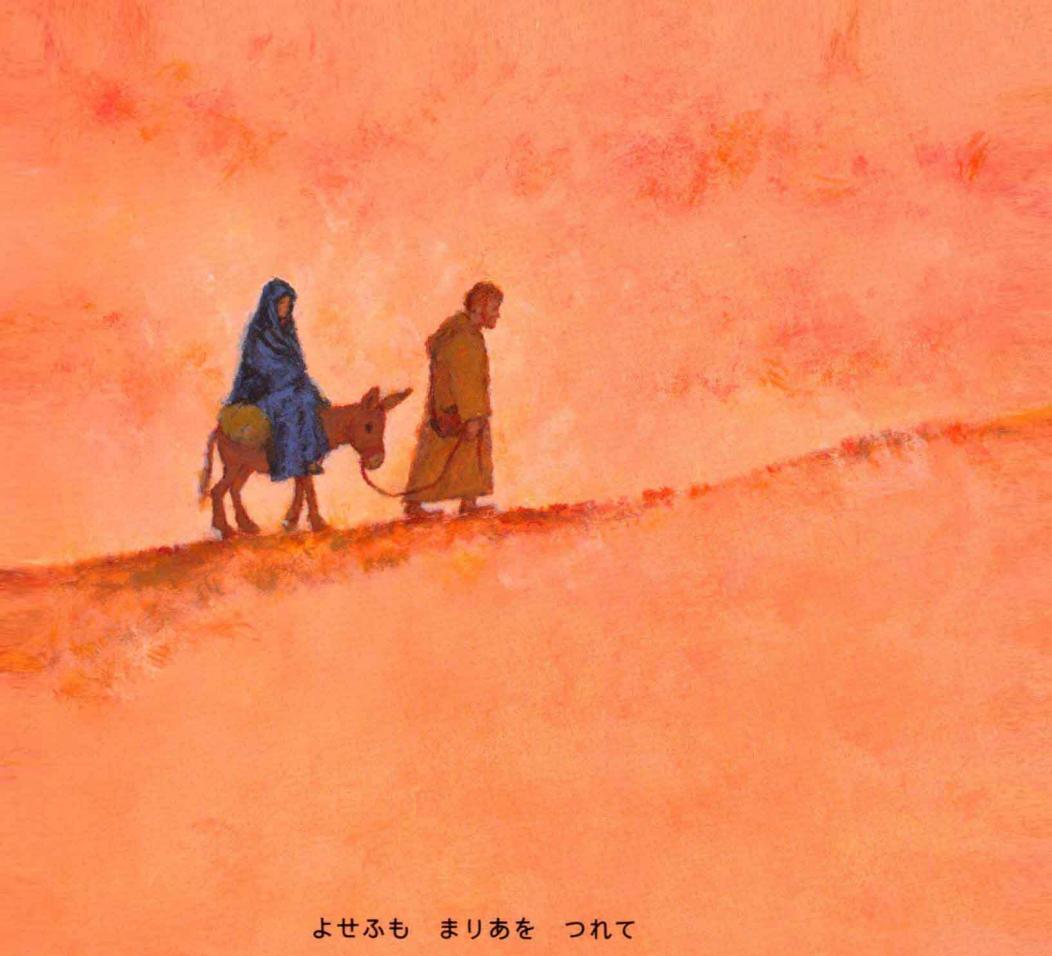
「この くにに なんにんの ひとが いるか
しらべる ことに する。

みんな じぶんが うまれた まちへ いって
きちんと なまえを とどけなさい。」









よせふも まりあを つれて
うまれた まち べつれへむへ しゅっぱつしました。
まりあは もうすぐ あかちゃんを うみます。
よせふは ゆっくり すすみます。
いっしゅうかんの ながい たびです。

やっと べつれへむに つきました。
けれども やどやは どこも まんいん。
とまる ところが ありません。
「どんな へやでも かまいません。
つまの まりあに こどもが うまれるのです。」
「あそこの うまごやなら つかって いいよ。」
やどやの しゅじんが いいました。





まよなかの ことです。

のはらで ひつじの ばんを して いた
ひつじかいたちは びっくりしました。

「おやおや あれは なんだろう。」

そらに おおきな ほしが かがやいて
てんしの うたが きこえて きたのです。

おめでとう おめでとう
べつれへむの うまごやで
こんや すくいぬしの おたんじょう
かいばおけで すやすや ねむる
かわいい あかちゃん いえすさま……







「ほんとかな？」

「てんしが いった ことを みに いこう！」

ひつじかいたちは

いそいで でかけて いきました。